

ST. GREGORY HOUSE

Institut for Religious Music

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所

203 TOKYO

Higashi Kurume Shi

Hikawadai 2-7-12

Tel: 0424-74-8915

0424 74 1562

橋本周子

岩崎様

1944年7月20日は Hitler 暗殺計画が実行され失敗に終わった日です。

Imshausen がその日を大事な記念日としているのは、失敗に終り計画の重要人物の一人

Adam von Trott が死刑になったからではありません。もう論その理由もあります。しかし

Imshausen が大事にして、その事実から学ぼうとしているのは「和解」と言うことです。

そして神への信頼と愛で/やうが。つまりあの時のユダヤ人を救う為の唯一の解決策は
暗殺しかありませんでした。そして悪魔のような邪悪に勇氣と拵って立ち上った人々の

人類への愛。 Adam 自身はドイツ人であり自身は政治家であり、父はプロシヤの文部

大臣と言う名門の身でユダヤ人について彼は 知らん顔とすることが出来る身だった

のです。なのに立ち上って、神への愛つまり人類への愛のために戦おうとしたのです。

ドイツのこの事件を知っている人にとって、この立ち上った邪悪は大変重要な意味があります。

次に Adam は捕まわる数日間 この口へは亡命することが出来た。人々の ~~救済~~ 救済に
もかかわらず、彼は残ることにあきらめを思いついて逃げませんでした。次に8月15日に

死刑の宣告を受けた時の軍事裁判でも彼は質問に対して「確かに」を繰り返して

いました。神のみ前に彼は他のことばと云う必要がなかったのだ/やう。

ST. GREGORY HOUSE

Institut for Religious Music

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所

203 TOKYO
Higashi Kurume Shi
Hikawadai 2-7-12
Tel: 0424-74-8915

そして処刑される直前 家族と母親に数行の

手紙をかきおいた。母親にむけて 感謝のことばと

お祈りの感謝の念(この一團肉神がいかにかばと導いてくれたが...)と

最後 すべてを赦すことを厚くしているのです。彼は主の霊のうちに

手紙をつづいて終っております。

ImshausenはAdamの残した教しを基として平和のために働きつづけておりました。特別 Adamの記念と Imshausenは8月6日主の変容の日(タボール山のこゝ)に行っています。朝5時にあのAdamの記念の十字架の下でミサを立てます。昨年 世界中から人々が集って平和の行進とタッハオからムンヘンに行った時、日本の押田神父もまた Adamの十字架のもとからタッハオまでの行進をしました。彼はそのタッハオでの集りに招かれたのですが、それなら「あのAdamの十字架から...と答えたのでしよう。主の変容の祝日は深い信仰の興義が秘められています。神が人との和解をなしたので それに従う。

キリスト教的な意味でのカーは 赦す、和解と答えているのでしよう。昨年に平和を、

本当の平和は和解の予がもたらすことが出来ると Imshausenは答えています。

Adamの母、Eonole von Trostは兄弟が争ったとき「兄弟姉妹でさえ

ケンカをやめることが出来なければ 何故、どうして世界が平和になることが

ST. GREGORY HOUSE

Institut for Religious Music

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所

出来るだろう」と云われていたそうです。

203 TOKYO
Higashi Kurume Shi
Hikawadai 2-7-12
Tel: 0424-74-8915

Imshamen の 苦闘の根本的な方の中に、お互に

赦し合い 受け入れることによる平和を先づ苦闘で実現することに

努力があったと思います。今でも 赦し合うことの訓練とされています。それは

口先でなく 和解。労働運動の和解とは申すまでもなく意味が異なります。

神のうちにあって、神に於いての和解です。

Imshamen にいると良く気がつくのが、私たちが常々教す、とか愛すとか お互に兄弟だからと云うことば 何んなに 偽善者のかと言う事に気がつきます。よく耳が痛くなるのです。

1944年

Imshamen にて 7月20日はとても重要な精神的意味のある日です。

ドイツにとっても、或いは我々人間にとっても この日を忘れてはならないのです。しかし人間は 人類にとって最も大事なことは かく忘れるか、或いは最初から気がつかないと言う事が多いでしょう。Imshamen は この日を記念することによって 神への愛、神への忠実を思い出しそこから流れる愛の力によって 平和を欲して 祈りつづけているのです。Imshamen の ミサが 豊穣が美しいのは その深いところでの神との話し合いがあるからです。私たちが一度と云わず あらと云われて 若して 外的な美しさではなく 祈りつづける信仰、心を豊かにする

ST. GREGORY HOUSE

Institut for Religious Music

聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所

203 TOKYO
Higashi Kurume Shi
Hikawadai 2-7-12
Tel: 0424-74-8915

ゆきかけをしいものと歌っています。

今年の1月 Imphansen に行った時. Oct-Windham: Fran Vera の
房間でミサを兄弟姉妹とだけ祝いました。本当に美しいミサでした。
何にも補足する必要なく 心も身体も平和の気持ちでいっただけです。
礼拝から受ける恵みの力って 言うものなのか としめわっています。
その恵みに参加出来ることと感謝しているところです。

岩崎様 1994年7月20日 hitler ^{暗殺} 失敗の日 をお伝えするのに
ずいぶん長い手紙をかいてしまいました。

市島様より。

橋本周子